

事例の区分

事業区分	工業・住宅団地等の土地造成（土地区画整理等）事業
配慮概要	電線類の地中化

事業の概要

事業名	津幡町井上地区住宅団地土地区画整理事業
実施場所	河北郡津幡町井上地区
事業主体	石川県住宅供給公社
実施期間	平成7年度～平成14年度
全体事業費	約780,000千円（電線類地中化分）
事業規模等	総面積：約30.8 ha 総区画数：569区画
事業概要	津幡町井上地区の団地造成において美しい街並み形成を目的として、全エリアの電力・電話・テレビの電線類を地中化して、団地内に電柱や架空ケーブル、テレビアンテナが全くない団地づくりを実施した。

環境配慮の内容

美しい街並み形成

- ・通常の架空方式のように電力・電話用の電柱及びケーブル、屋根用のテレビアンテナを設置するのではなく、宅地造成に併せて電力・電話・テレビ用の電線管、ケーブルを全て地中に埋設し、団地内の街並み景観を向上させ、すっきりとした眺望や開放感の高い団地形成を行った。

通行空間の確保

- ・変圧器や分配機などといった機器類を収用する路上盤を歩道内に設置するのではなく、各宅地間に路上盤や防犯灯を設置する設備スペースを設けて、車椅子やベビーカーを利用する人にも障害のない、安全な団地づくりを行った。

災害発生に対する配慮

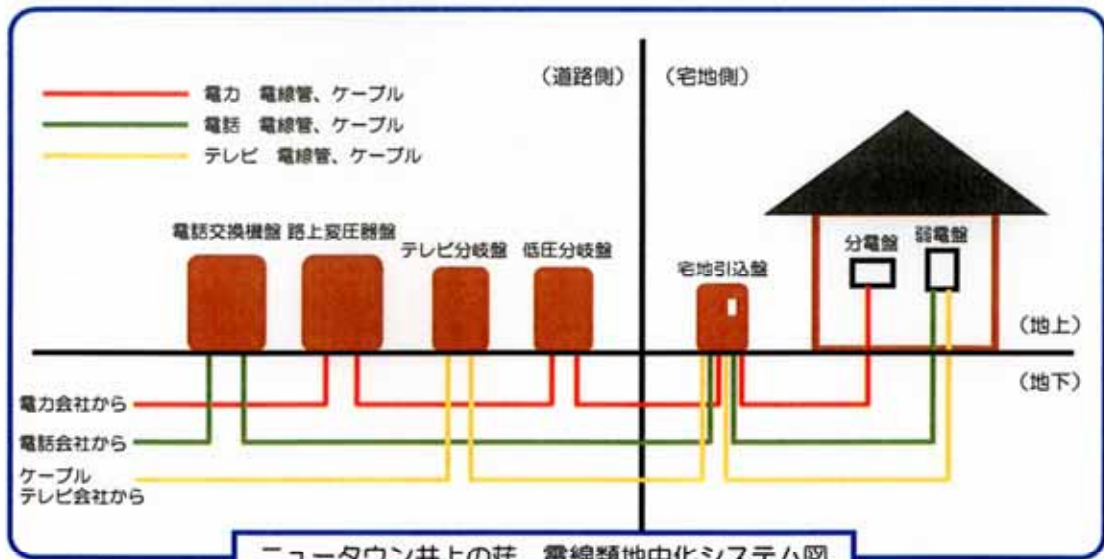
- ・電柱やケーブルを排除することで、地震発生時における電柱倒壊、強風による屋根上アンテナの飛散、建物工事に伴う感電事故の危険が少ない団地づくりを行った。

環境配慮の結果

- ・県下最初の全団地電線類地中化により、グレード感の高い団地となっている。
- ・団地内（屋外）のバリアフリー化も実現している。

今後の留意事項等

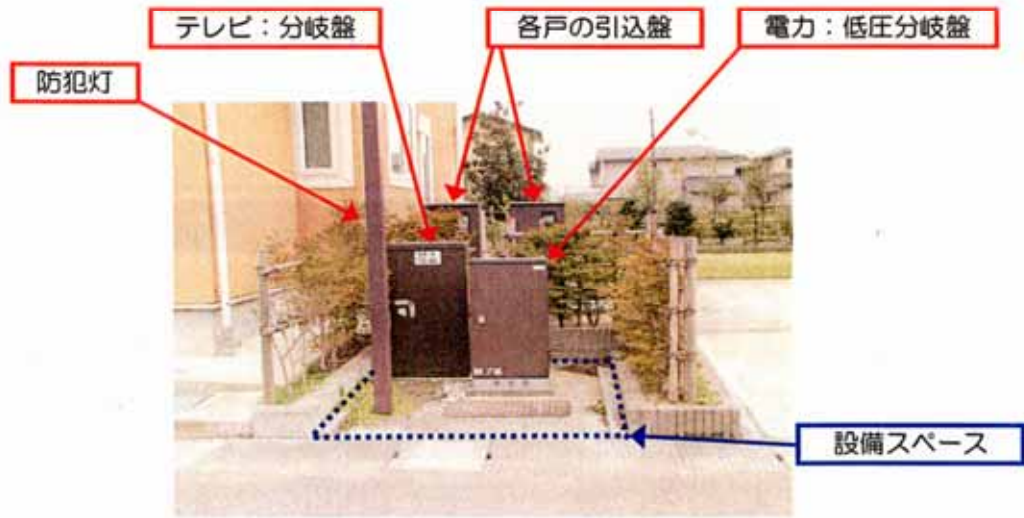
- ・電線の地中化において、地盤状況を十分に把握して採用する電線管の種類を決定する必要がある。



ニュータウン井上の荘 電線類地中化システム図



【電線類地中化されたニュータウン井上の荘】



【宅地間に設備スペースを設置】